

されど 岩国は負けない！

前岩国市長

井原 勝介 講演会

民主主義と地方自治のために

日時 7月5日(土) 午後2時
場所 共済会館 (高知市役所西側)
参加費 1000円 (高校生以下無料)



井原 勝介(いはら かつすけ)略歴

生年月日 昭和25年7月7日
昭和44年3月 山口県立岩国高等学校卒業
昭和51年3月 東京大学法学部卒業
昭和51年4月 労働省入省
昭和61年3月 外交官(在タイ日本大使館一等書記官)
平成10年7月 労働省退職
平成11年5月 岩国市長就任

以来、市民の声を大切にされた公平・公正な政治を实践、平成18年には、米軍再編をめぐって住民投票を実施、その結果を踏まえて反対を貫いてきたが、昨年12月末、予算と引き替えに辞職。2月の市長選挙で敗北。

米軍再編をめぐって岩国は大きく揺れています。

17年秋、厚木の空母艦載機部隊の岩国基地への移駐案が突然提起され、我々の苦悩が始まりました。岩国基地の航空機数が現在の2倍の120機、人員が4,000人増の約1万人になるという大規模なもの。過大な負担を強いるもので、今回だけは我慢できないというのが率直な想いでした。しかし、岩国の「民意」は顧みられないままに、約束されていた庁舎補助金の突然のカットや米軍再編交付金の創設など、まさにアメとムチの手法により、市民は分断され、国という大きな力の前に小さな地方都市は押しつぶされそうになっています。岩国の戦いはまだまだ続きます。私はもちろん、その先頭に立つ覚悟です。【井原勝介】